



信州大学山岳会登山遠征計画書

2001年 9月 ヨーロッパアルプス

マッターホルン北壁

Matterhorn

4478m

S A C

1 登山隊名：信州大学マッターホルン北壁登山隊 2001年

2 目的：アルピニズムを体感する

3 主催：信州大学山岳会

4 隊の構成：隊長1名、登攀隊長1名（計2名）

5 事務局：中嶋 岳志 教育学部 数学科卒業

6 留守本部：宮崎 敏孝 農学部 林学科卒業

7 日程：2001年 9月 日 成田空港発 渡欧
～ 日 までヨーロッパアルプスを登攀
日 成田空港着 帰松

8 予算（国内外出費）	・渡航費	300,000
	・消耗品	10,000
	・食料費	60,000
	・医療費 保険費	50,000
	・滞在費	60,000
	・予備費	50,000
	・合計	530,000

9 隊員名簿

隊長

大木 信介 〈OHKI NOBUSUKE〉

〈所属〉

〈登山暦〉

1998年夏	モンブラン	(4,807m)	フランス〈単独〉
1999年春	マッキンリー	(6,109m) 登頂	アメリカ
1999年夏	アルパマヨ	(5,947m) 登頂	ペルー

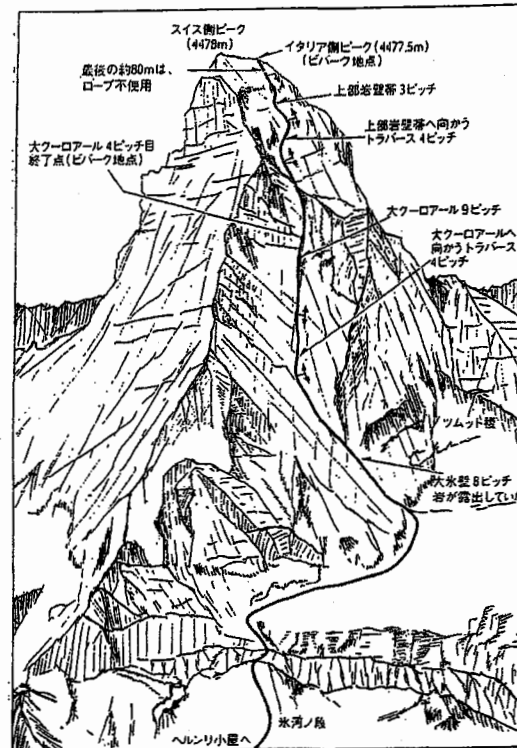
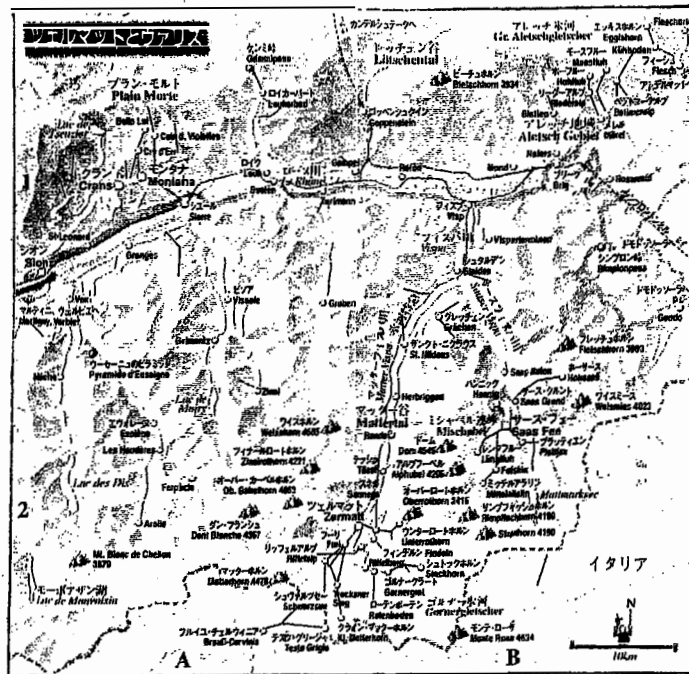
登攀隊長

岸本 俊朗 〈KISHIMOTO SHUNROU〉

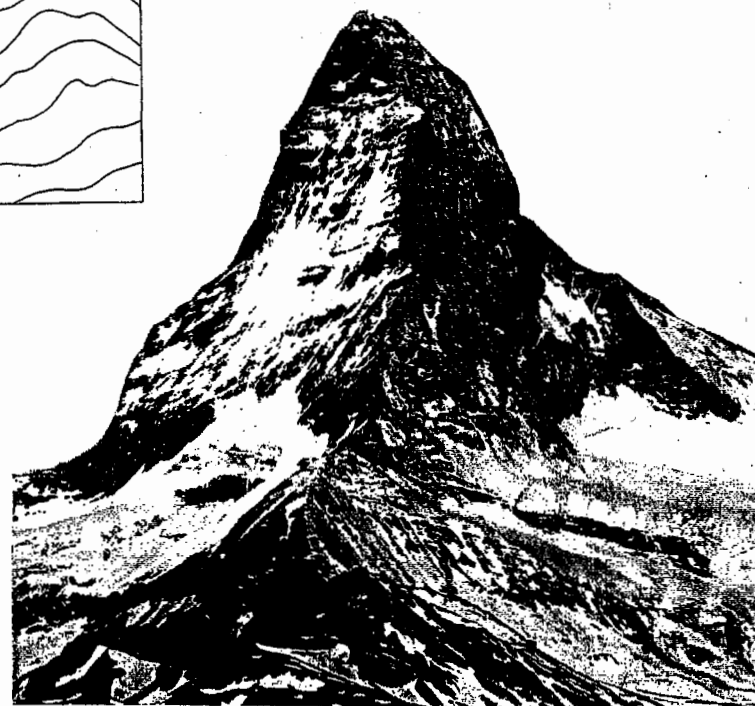
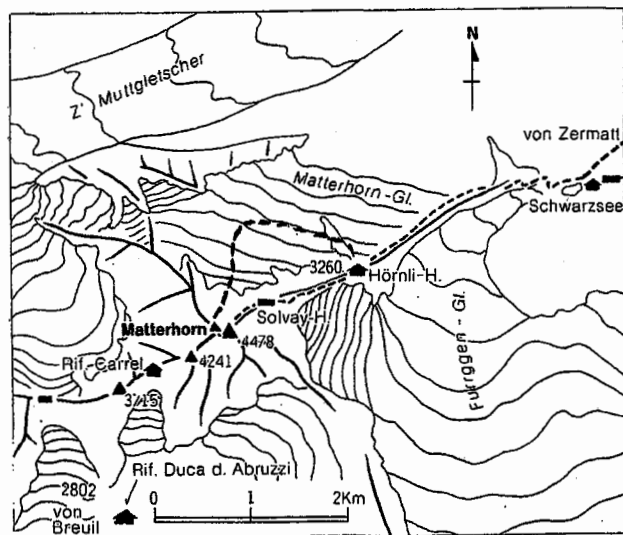
〈所属〉 信州大学山岳会

〈登山暦〉

主に四季の日本アルプスを登山



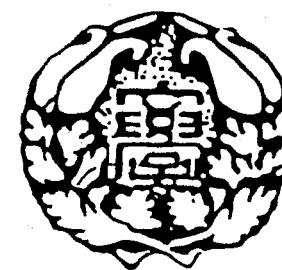
登攀ルート概念図



春寂寥 (信州大学山岳会会歌)

春寂寥の洛陽に 昔を偲ぶ唐人の
傷める心今日は我 小さき胸に懐きつつ
木の花蔭にさすらえば あはれ悲し逝く春の
一片毎に落る涙

嵐は山に落ち果てぬ 静けき夜半の雪崩れ
楯の火赫くさゆらげば 身を打ち寄する白壁に
冬を昨日の春の色 あはれ床し友どちが
あかぬまどひのもの語り



学士山岳会各位

ヨーロッパ遠征について

以前報告書をお送りした際にお知らせしていたヨーロッパ遠征の計画ですが、計画書が出来上がりましたので送りいたします。計画書ではマッターホルン北壁のみとなっていますが、それをメインに他のルートも登る予定です。時期は9月からの1ヶ月間で少々先の話になりますが、遠征に向けてのトレーニング山行等でつまらぬ怪我などをしないよう、今から身を引き締めて精進していく所存です。

計画についてご意見、または現地の詳しい情報(ここの飯がうまい、安く過すコツなど、なんでもかまいません。)等ありましたら、お手紙、メールで遠慮なくお願いします。(アドレスはお送りしている計画書の名簿に掲載してありますのでそちらを参照してください。)

我々2人とも今年は上級生の人手の関係から、サマテンに常駐することになると思われます。サマテンでは遠方のOB・OGの方々とお会いできるのを楽しみにしています。

平成13年6月12日 現役5年 大木信介・岸本俊朗

今年度の活動について

報告遅れて申し訳ありませんでした。メーリングリストの方にはこの2ヶ月間の簡単な報告をさせていただきましたが、この場を借りて改めて報告をさせていただきます。

今年度は主力である3年生が辞め、2年1名、4年4名、計5名という状況で始まりました。この危機的な状況を打開しようと勧誘活動に励んだ結果、6名の新人を迎えて新人合宿に臨むことができました。合宿の詳細は報告書をご覧ください。みな無事合宿を乗り切り(乗り切ってもらわなければ困りますが)、現在、夏に向けた活動を開始し始めたところです。当たり前のことですが、まだまだ体力面など不足している部分はあります。しかし、皆意識は高いので、不足している面は補い、何とか頑張っこのメンバーで冬を乗り切りたいと思っています。

OBの方々には更なるお力添えをお願いすることになるかと思います。我々も精一杯頑張っゆく所存ですが、何かと不備が生じることがあるかと思います。そんなときは、ご意見、アドバイスから文句まで、何でも遠慮なくおっしゃっていただければ幸いです。そのことによってOBの方々との交流も増えると思いますし。また、一部の方々には毎月の計画書を送らせていただいております。今後も継続してお送りさせていただきます。昨年は事故によって多くの方々に多大なご迷惑とご心配をおかけしました。今年は気持ちを新たに、事故の無いよう厳しくも楽しい登山を11名で実践していけたら、と思っています。今後ともよろしくお願いします。

簡単ではありますが、挨拶とさせていただきます。

平成13年6月13日 今年度リーダー 横山勝丘